



## トランスレーションパターンの設定

---

- [トランスレーションパターンの概要, 1 ページ](#)
- [トランスレーションパターンの前提条件, 1 ページ](#)
- [トランスレーションパターンの設定タスク フロー, 2 ページ](#)

### トランスレーションパターンの概要

任意のタイプのコール用に数字を処理するトランスレーションパターンを設定できます。トランスレーションパターンは、ルートパターンと同じ一般規則に従い、同じワイルドカードを使用します。ルートパターンと同じように、トランスレーションパターンをパーティションに割り当てます。ただし、ダイヤルされた数字がトランスレーションパターンと一致する場合、Cisco Unified Communications Manager は、ゲートウェイなどの外部エンティティにコールをルーティングしません。代わりに、まず変換を実行した後、トランスレーションパターン内で設定されたコーディング検索スペースを使用して、コールを再度ルーティングします。

### トランスレーションパターンの前提条件

トランスレーションパターンを設定する前に、次のタスクを完了する必要があります。

- [パーティション設定のタスク フロー](#)
- [コールルーティング設定のタスク フロー](#)



(注) 作成した各トランスレーションパターンで、パーティション、ルートフィルタ、および番号計画の組み合わせが一意であることを確認します。重複入力を示すエラーを受け取った場合、ルートパターンまたはハントパイロット、トランスレーションパターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、またはミーティング番号の設定ウィンドウを確認します。

---

# トランスレーションパターンの設定タスク フロー

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">トランスレーションパターンの設定, (2 ページ)</a>	トランスレーションパターンを設定し、発信後にコールをルーティングする方法を指定します。

## トランスレーションパターンの設定

発信後にコールのルーティング方法を指定するには、トランスレーションパターンを設定します。トランスレーションパターンを設定すると、Cisco Unified Communications Manager で発信および着信番号を適切に操作できます。Cisco Unified Communications Manager では、パターンの一致を検出すると、トランスレーションパターンに設定されたコーリング サーチ スペースを使用して、さらに一致があるかどうかを確認します。

## 手順

**ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[コールルーティング (Call Routing) > [トランスレーションパターン (Translation Pattern) ] を選択します。

**ステップ 2** 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しいトランスレーションパターンを追加するには、[新規追加 (Add New) ] ボタンをクリックします。
- 既存のトランスレーションパターンの設定を変更するには、検索条件を入力して[検索 (Find) ] をクリックし、結果のリストからトランスレーションパターンを選択します。

[トランスレーションパターンの設定 (Translation Pattern Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [トランスレーションパターンの設定 (Translation Pattern Configuration) ] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

**ステップ 4** [保存 (Save) ] をクリックします。